

2013年度就職状況 (2014年2月1日現在)

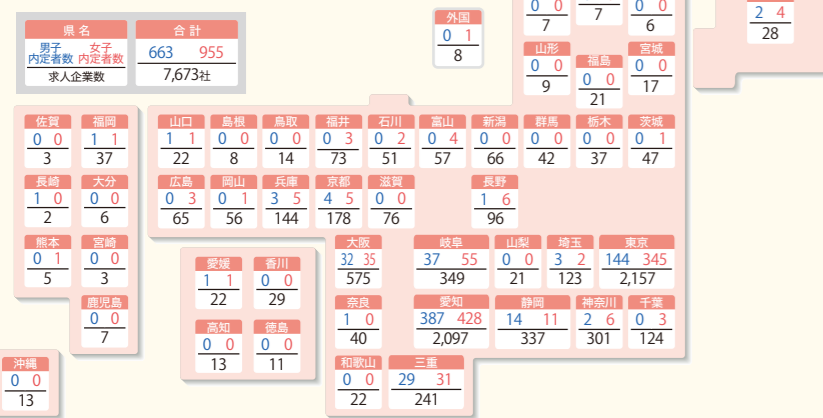
今年度4月に発表された大卒有効求人倍率は1.28倍で昨年度の1.27倍から横ばいでしたが、その後の景気が順調に回復したこともあり、金融業を中心に当初の予定よりも採用数を増やした企業が多くなりました。しかし、リーマンショック以降、採用方針として「量より質」を優先する企業の割合は依然として高く、学生がこれまで培ってきた「総合力」が就職活動において厳しく問われることには変わりありません。その点で「南山大学生は真面目で素直、潜在的な能力

もあり、優秀な学生が多い」との評価を多くの企業から頂いており、最終的な就職率(企業別年度)は、昨年度の96.4%を若干上回る見通しです。業種別の割合は、前年度から大きな変化は見られず、金融保険、製造、商社・流通への就職が多くなっています。

今後も一人でも多くの学生にとって満足のいく就職ができるよう、就職支援体制の充実を図り、学生の就職活動をより一層支援していきます。

(就職委員会委員長 石川良文)

都道府県別求人企業数・就職内定状況



主な内定先 (業種別・学科別内定者数)

業種	学科	内定者数
建設	土木	13
	建築	0
	都市計画	0
	環境	0
	都市工	0
	建築工	0
	土木	0
	建築	0
	都市計画	0
	環境	0
各種製造	機械	13
	電気	11
	化学	0
	情報	0
	食品	0
	繊維	0
	窯業	0
	印刷	0
	金属	0
	窯業	0
電気・ガス・水道	電気	13
	ガス	0
	水道	0
	電気	0
	ガス	0
	水道	0
	電気	0
	ガス	0
	水道	0
	電気	0

業種	学科	内定者数
不動産・リース	不動産	13
	リース	0
	不動産	0
	リース	0
	不動産	0
	リース	0
	不動産	0
	リース	0
	不動産	0
	リース	0
教育	教育	13
	教育	0
	教育	0
	教育	0
	教育	0
	教育	0
	教育	0
	教育	0
	教育	0
	教育	0

業種	学科	内定者数
公務	公務	13
	公務	0
	公務	0
	公務	0
	公務	0
	公務	0
	公務	0
	公務	0
	公務	0
	公務	0
短期大学部	短期大学部	13
	短期大学部	0
	短期大学部	0
	短期大学部	0
	短期大学部	0
	短期大学部	0
	短期大学部	0
	短期大学部	0
	短期大学部	0
	短期大学部	0

業種	学科	内定者数
その他	その他	13
	その他	0
	その他	0
	その他	0
	その他	0
	その他	0
	その他	0
	その他	0
	その他	0
	その他	0

主な内定先 (業種別・学科別内定者数)

業種	学科	内定者数
建設	土木	13
	建築	0
	都市計画	0
	環境	0
	都市工	0
	建築工	0
	土木	0
	建築	0
	都市計画	0
	環境	0
各種製造	機械	13
	電気	11
	化学	0
	情報	0
	食品	0
	繊維	0
	窯業	0
	印刷	0
	金属	0
	窯業	0
電気・ガス・水道	電気	13
	ガス	0
	水道	0
	電気	0
	ガス	0
	水道	0
	電気	0
	ガス	0
	水道	0
	電気	0

Information

◆ 2013年度学生部長表彰

個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたとき、学生部長表彰が授与されます。

個人	氏名	所属	対象となる主な活動
学生	塩谷尚久	洋弓部女子	第24回全日本学生アーチェリー東日本大会 出場
学生	高玉詩織	個人	フレンチボブコングール2013 優勝
学生	高松 玲子	個人	名古屋ボストン美術館主催「My memory in USAわたしのアメリカ」日本航空賞
学生	中山 菜	個人	第32回ゲーテの詩朗読コンテスト ベア出場 優勝
学生	上野加奈	個人	第32回ゲーテの詩朗読コンテスト ベア出場 優勝
学生	栗本 穂子	個人	第45回「全日本学生フランス語弁論大会」京都外国語大学総長・APEF賞(2位)
学生	小林 里穂	ラクロス部女子	第22回東海学生ラクロスリーグ戦 最優秀選手賞(MVP)
学生	河井 亮	ラクロス部男子	第22回東海学生ラクロスリーグ戦 優秀選手賞
学生	栗本 未来	弓道部男子	第46回東海学生弓道男子百射会 優勝
学生	竹下翔太	水泳部	第89回日本学生選手権水泳競技大会 出場
学生	立松 香織	南山FSC(フィギュアスケート)	第86回日本学生氷上競技選手権大会 出場
学生	中野 絵梨	写真部	アサヒカメラ月例コンテストファーストステップ部門:10月号入選、1月号特選
学生	堀田 有紀	写真部	月刊カメラマン月例フォトコンテスト 2月号、6月号、11月号銀賞他、多数入賞

団体	団体名(男女別)	対象となる主な活動
写真部	写真部	アサヒカメラ月例コンテスト 10月号入選、1月号特選他、多数予選通過 月刊カメラマン月例フォトコンテスト2013年2月号、6月号、11月号銀賞他、多数入賞
ラクロス部女子	ラクロス部女子	第22回東海学生ラクロスリーグ戦 優勝
ラクロス部男子	ラクロス部男子	第22回東海学生ラクロスリーグ戦 準優勝
アリアーダース RUSTLES	アリアーダース RUSTLES	第18回中部アリアーディング選手権大会 大学の部 準優勝
弓道部男子	弓道部男子	第48回日本弓道近畿選手権大会 一般男子の部 3位
Nantan Girls Project	Nantan Girls Project	国際NGOボランティア「世界の女の子に生きる力」を!協働プロジェクト 書き損じハガキ回収により227万円寄付
SETObuki	SETObuki	ESSロボットチャレンジ2013 ベーシック部門3位

◆ 2014年度 南山エクステンション・カレッジ 学生向け特別講座

学生時代は自らのキャリアアップのチャンス。南山エクステンション・カレッジは、学生生活を充実させたい、将来の進路に役立つ資格を取りたい、いま持っているスキルを向上させたいなど、意欲ある学生に各種の講座(有料)を提供しています。

講座名	開講期間	講座開講曜日	申込締切日
公務員試験対策講座(総合コース)	2014年5月10日～12月17日	水・土	2014年4月28日
公務員試験対策講座(基礎コース)	2014年5月10日～12月13日	土	2014年4月28日
教員採用試験対策講座(基礎コース)	2014年9月27日～12月13日	土	2014年9月23日
秘書検定準1級対策講座	2014年6月11日～10月22日	水	2014年5月26日
エアライン就職対策講座	2014年6月7日～12月13日	土	2014年5月26日
マスコ就職対策講座	2014年6月4日～12月3日	水	2014年5月26日

このほかに、南山エクステンション・カレッジ公開講座(春期・秋期)として、3級FP技能士検定試験対策講座、日商簿記3級検定試験対策講座、二種証券外務員資格試験対策講座を開講しています。学生向け講座を含めて4月・5月に学内説明会を行います。日程等はWebページ、Porta、掲示にてお知らせします。

申し込み・問い合わせ 南山エクステンション・カレッジ事務局(名古屋キャンパス棟1階) Phone:052-833-6957 Fax:052-832-4306
詳細は、南山エクステンション・カレッジWebページをご覧ください。http://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/index.html

News

南山大学人類学博物館と名古屋大学博物館が協定書を締結

2014年2月18日に南山大学人類学博物館と名古屋大学博物館は大学教育・学術研究・地域貢献などに関わる博物館活動において、教員・職員・学術の交流および博物館標本の相互利用などの連携協力を行うことを定めた協定書を取り交わしました。

具体的には、展覧会のようなハード面での協力と共に、学芸員養成課程や相互の専門性を活かした調査研究などのソフト面において、関係を深めていくことを目的にしております。

この協定書締結により、両博物館はますます発展していくこととなります。

南山大学人類学博物館 青木館長(右)
名古屋大学博物館 吉田館長(左)

南山大学

発行 学長室
〒466-8673 名古屋市中区山里町18
Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail: gaku-koho@nanzan.ac.jp
http://www.nanzan-u.ac.jp/



2014年春 新たな一歩へ

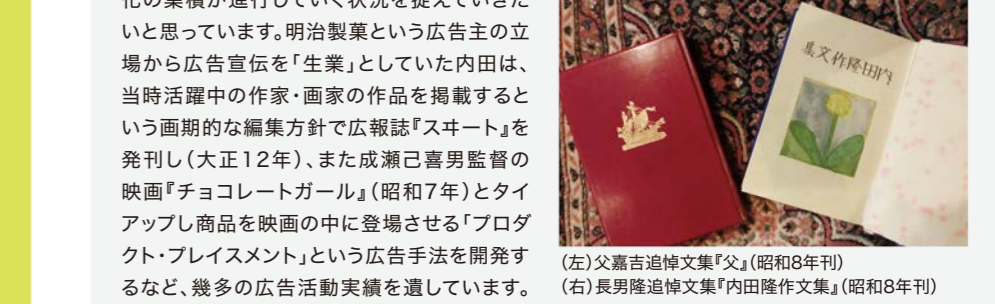
私の研究

「生業」と「余技」

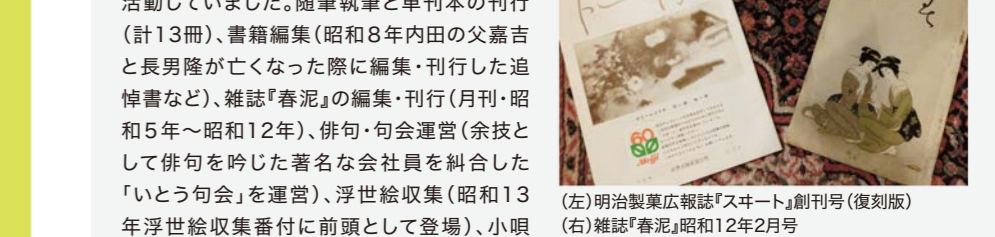
前職が広告会社社員でありましたので、企業動向やビジネスパーソンに関する情報は代わっていませんが、私の研究は、躍動する現代企業に関するテーマではありません。かつて明治製菓の宣伝部長であった内田誠(明治26年生～昭和30年没)という人物であります。

今では忘れ去られている内田という人物を徹底的に捉えていくことによって、戦間期(1920年代・30年代)の東京において芸術文化の集積が進行していく状況を捉えていきたいと思っています。明治製菓という広告主の立場から広告宣伝を「生業」としていた内田は、当時活躍中の作家・画家の作品を掲載するという画期的な編集方針で広報誌「スマートフォン」を発刊し(大正12年)、また成瀬吉善米監督の映画「チョコレートガール」(昭和7年)とタイアップ商品を映画の中にも登場させる「プロダクト・プレイメント」という広告手法を開発するなど、幾多の広告活動実績を遺しています。

一方彼は広告宣伝という業務の傍ら、「趣味」に活動した幅広い芸術文化領域において活発に活動していました。随筆執筆と単刊本の刊行(計13冊)、書籍編集(昭和8年内田の父嘉吉と長男隆が亡くなった際に編集・刊行した追悼書など)、雑誌「春泥」の編集・刊行(月刊・昭和5年～昭和12年)、俳句・句会運営(余技として俳句を吟じた著名な会社員を糾合した「いとう句会」を運営)、浮世絵収集(昭和13年浮世絵収集番付に前頭として登場)、小唄



(左)父嘉吉追悼文集「父」(昭和8年刊)
(右)長男隆追悼文集「内田隆作文集」(昭和8年刊)



(左)明治製菓広報誌「スマートフォン」創刊号(複製版)
(右)雑誌「春泥」昭和12年2月号

私のクラス

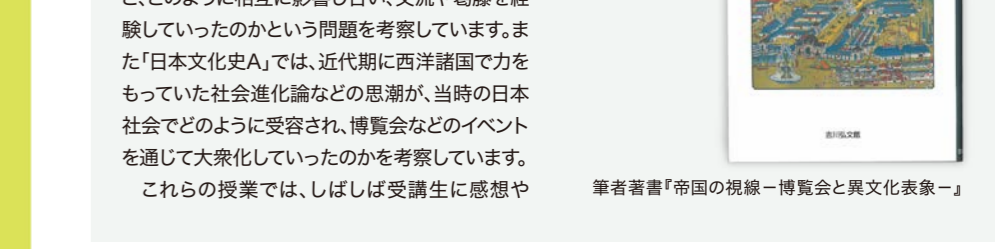
まつだ・きょうこ
日本文学部
日本文化学科 教授

「文化」の交流、接触、葛藤の歴史から学ぶ

19世紀後半以降の「世界」は、さまざまな交通・通信手段の発達によって、それぞれの地域の経験が一段と強く相互に関連するようになったと言われています。もちろん日本も、その例外ではないと言えるでしょう。

私が担当している「近現代日本とアジア」では、19世紀末以降の台湾に焦点をあて、50年間におよぶ日本の統治が台湾にどのような影響を与えたのかを、特に「文化」という観点から考察しています。また「日本文化史B」では、近代以降に日本人の移民として、ハワイやアメリカなどに渡った人々の歴史を取り上げるとともに、逆に例えれば主に1920年代以降、朝鮮半島から日本に渡り、日本社会の中で定住するようになった人々の歴史も取り上げ、「異文化」の中で生活する人々が周囲の人々と、どのように相互に影響し合い、交流や葛藤を経験していったのかという問題を考察しています。また「日本文化史A」では、近代期に西洋諸国で力をもっていた社会進化論などの思潮が、当時の日本社会でどのように受容され、博覧会などのイベントを通じて大衆化していったのかを考察しています。

これらの授業では、しばしば受講生に感想や



筆者著書「帝国の視線—博覧会と異文化表象—」

2014年度からの学長、副学長が決定いたしました。

任期 2014年4月1日～2017年3月31日(3年間)

※南山短期大学学長は、在学生が居なくなるまでの経過措置になります。



南山大学学長(新任)
南山大学短期大学部学長(新任)
南山短期大学学長(新任)

人文学部 教授 **ミカエル・カルマン**

2008年度以来務めてきた学長職は、今回の再任で3期目に入り、責任をとても感じております。「再任」なので「継続」という印象も与えるでしょうが、今回の「継続」にはかなりの変化が含まれています。南山大学が2007年度から手がけているグランドデザインの実現に向け、「絶えざる自己改革」という変わらない姿勢で次の3年間も引き続き全力を尽くして参りたいと思います。

具体的には、カリック系ミッションスクールである南山大学の建学の精神を保ちながら、高等教育機関を取り巻く環境の変化に注意をはらって、将来計画を進めて参ります。その一方で、時代の変化の最中にも変わらないことがあるという信念を再発見する覚悟と勇気をもって、南山大学の教育モットー「人間の尊厳のために」を引き続き国際社会に発信していきます。

これらのことは、私ひとりではできません。3名の副学長と共に、昨年から敷いたOne Campus Many Skills®の路線、お示した改革方針の具体化に力を入れていきます。引き続き皆様のご協力を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

※2017年、全学部・全学科を名古屋キャンパスに統合します。



副学長(総務担当・将来構想担当)
情報理工学部 教授
鈴木 敦夫
(※2014年4月、理工学部へ名称変更)

専攻分野
オペレーションズ・リサーチ(OR)
研究テーマ
施設配置問題の研究、ORの手法の実際問題への適用



副学長(教学担当)
外国語学部 教授
中 裕史

専攻分野
中国現代文学
研究テーマ
中国および日本におけるラテンアメリカ系移民児童・生徒の母語維持と学力の相関性



副学長(国際担当)
外国語学部 教授
牛田 千鶴

専攻分野
教育学、ラテンアメリカ地域研究
研究テーマ
米国および日本におけるラテンアメリカ系移民児童・生徒の母語維持と学力の相関性

学長ストラップ 新商品近日発売予定!

今回の学長ストラップは、ミカエル・カルマン学長がカエルと共に船に乗っており、将来構想実現に向けての船出をイメージしています。底面は液晶クリナーとなっております。
[名古屋キャンパス/コバン3階NES(ネス)、瀬戸キャンパス/E棟学生会館 丸善にて販売予定]

将来構想推進室を設置

現在計画中の将来構想(キャンパス統合、学部の改組改編等)を実行していくための体制として、2014年4月1日より将来構想推進室を設置し、室長に現・将来構想担当副学長の情報理工学部教授・野呂昌浩をあてることといたしました。

※2014年4月、理工学部へ名称変更

学部・研究科のさらなる前進

理工学部へ名称変更

日本のモノづくりの拠点として、世界の先進企業が集まる中部地区、産業の国際競争が激しさを増す中、現場では絶え間なく技術革新が進み、高度な専門技術をもとに新しい製品や価値を創出する技術者へのニーズが急速に高まっています。これらにニーズに対応し、これまでに

社会科学部研究科を設置

2014年4月に、社会科学部研究科経済学専攻[博士前期課程]、経営学専攻[博士前期課程]、総合政策学専攻[博士前期課程]を設置します。社会科学部研究科では、経済学、経営学、政治学、法律学等を基礎としながら広い視野で俯瞰的な見地から問題を発見し、解釈・分析し、その結果を有機的に統合させながら提案することで、グ

培った研究実績や、産業界との信頼関係を継承しつつ、より地域性を重視し、世界で通用するモノづくりを学ぶ学部へ再編します。2014年4月、情報理工学部は理工学部へ、システム創成工学科は機械電子制御工学科へ、情報システム数理工科はシステム数理工科へ名称変更します。

ローバルな社会の変化に伴う環境の変化に対して柔軟に対処できる人材を養成します。中部地区のみならず、日本の世界最高水準の企業に優秀な人材を送り出すことは、日本の産業発展に貢献するとともに、我が国の競争力の強化という社会的な必要性に十分に応えるものです。

Special events

12.8

南山大学・豊田工業大学連携10周年記念講演会「グローバル時代の大学連携～大学の使命と学生の動機づけ～」

12月8日、南山大学と大学間連携協定を締結している豊田工業大学との連携10周年記念講演会を開催しました。今回のテーマは、「グローバル時代の大学連携～大学の使命と学生の動機づけ～」とし、両学の連携10周年の紹介の後に、第1部としてカルマン学長と榎学長による学長対談「グローバル時代の大学連携」を行いました。

対談の中でカルマン学長は、「これからの若者には、何が社会にとって役に立つのかを考え、世の中に貢献

できる人になって欲しい。」「両大学でこれからも連携し、協力しあえる良い関係を築いていきたい。」と語りました。また、アトラクションとして南山大学管弦楽団が演奏した後、第2部では両大学の卒業生4名と教員2名によるパネルディスカッション「大学は世界を知るチャンス場!」を行いました。



1.8

2014年春学期外国人留学生別科入学式

1月8日、名古屋キャンパスにて、世界11カ国から37名(聴講生1名を含む)の新入生を迎えて2014年春学期外国人留学生別科入学式を行いました。挨拶に立ったカルマン学長は、世界各国から学生が集まる南山大学は「国境のない学びの場」であることを伝え、何のため日本語を勉強しているのか真剣に考えて

欲しいと述べると同時に、南山大学が提供する教育の第一目的は「人間の尊厳」であることを語りました。



2.2

南山歌舞伎さよなら公演「白浪五人男」

2月2日、名古屋キャンパスG30教室にて、第10回南山歌舞伎「青砥碇花紅彩画(通称:白浪五人男) 稲瀬川勢揃いの場」を上演しました。これは、人文学部日本文化学科・安田文吉ゼミによる卒業研究プロジェクトの一環です。歌舞伎研究は、文献講読や歌舞伎鑑賞による研究も大切ですが、実際に歌舞伎を演じる事で日本文化、日本人の心をより深く理解できることから上演を行っています。そのため、演者はもちろんのこと下座音楽と呼ばれる唄・三味線や鳴物も学生が担当しています。

安田教授の退職により今回が最終公演となるため、カルマン学長や安田教授、そして卒業生も含め普段から南山歌舞伎をご指導いただいている方々も特別に出演されました。600人を収容できる大教室は満員御礼となり、来場者からの拍手喝采の中、南山歌舞伎は幕を閉じました。



中央:カルマン学長、右:安田教授

2.24

名古屋キャンパス新棟建設工事起工式

2月24日、名古屋キャンパスA棟北側建設予定地において、新棟建設工事起工式を執り行いました。起工式は、南山学園理事をはじめ約50名が列席し、指導司祭の西脇純神父による司式のもと、神をたええ神の恩恵を授かるよう祈りを捧げました。穿初めの儀では、鉄入れ

をカルマン学長が行いました。新棟は研究棟、教室棟、食堂棟を擁す地上7階、地下1階建てで、食堂棟には屋上緑化を行い、2015年2月の竣工を予定しています。



2014年度入試結果

一般入試・全学統一入試・センター利用入試(後期除く)

主要3入試の志願者数は微減(センター利用入試[後期]除く)

2014年度入試の志願者数は、一般入試が10,888人、全学統一入試は[個別学力試験型]

が2,596人、[センター併用型]が3,969人、センター利用入試は[前期3教科型]が3,852人、[前期5教科型]が1,522人、主要3入試の合計は22,827人となり、昨年度の過去最高数からは759人の減少(昨年度比96.8%)となりました。

理工学部⁽¹⁾⁽²⁾の募集方法を、学部一括募集から学科募集へ

理工学部⁽¹⁾⁽²⁾の募集方法を学科募集に変更しました。また、理工学部⁽¹⁾⁽²⁾一般入試A方式では第2志望科が導入され、受験生は第2志望学科を選択できるようになりました。

札幌・仙台試験会場を追加、雪による影響もなく平穩に実施

2月7日の全学統一入試では、2014年度入試から札幌・仙台会場が追加され全国14の試験会場で行う試験が実施されました。2014年度入試は大雷により影響を受けた受験生への配慮のため、多くの大学で試験時間の変更、再試験の実施などの措置を講じることとなりましたが、本学の試験日は天候にも恵まれ、無事に終了しました。

合格発表

合格発表は、2月6日、2月20日に、Webページ上に合格者の受験番号を掲載し、併せて合格通知書(入学手続書類を含む)を送る形で行いました。2014年度入試の合格者数は、一般入試が4,148人、全学統一入試は[個別学力試験型]が1,030人、[センター併用型]が1,764人、センター利用入試は[前期3教科型]が2,822人、[前期5教科型]が1,138人でした。

2014年度入試 都道府県別志願者数・合格者数

都道府県	志願	合格	都道府県	志願	合格	都道府県	志願	合格
北海道	37	12	石川県	62	30	岡山県	20	7
青森県	5	3	福井県	31	13	広島県	24	8
岩手県	7	7	山梨県	8	3	山口県	9	2
宮城県	14	5	長野県	96	44	徳島県	4	0
秋田県	3	0	岐阜県	3,138	1,596	香川県	9	3
山形県	1	1	静岡県	593	274	愛媛県	25	6
福島県	42	10	愛知県	16,541	7,949	高知県	8	3
茨城県	17	3	三重県	1,603	724	福岡県	33	16
栃木県	8	7	滋賀県	14	8	佐賀県	3	0
群馬県	14	1	京都府	17	7	長崎県	11	8
埼玉県	18	5	大阪府	46	13	熊本県	4	1
東京都	38	12	兵庫県	38	14	大分県	12	3
神奈川県	23	12	奈良県	16	9	宮崎県	4	0
新潟県	7	4	和歌山県	19	1	鹿児島県	7	4
富山県	81	29	鳥取県	6	4	鹿儿島県	1	1
			島根県	6	5	徳島県	91	30
						合計	22,827	10,902

※ センター利用入試[後期]は除きます。

南山のDNA DNA DNA

小さなことほど丁寧に、当たり前のことほど真剣に

藤澤 明美 外国語学部フランス学科 2011年度卒業



ANAの客室乗務員として入社して2年が経ちました。私が毎日欠かさず自分に言い聞かせている言葉があります。それは、「小さなことほど丁寧に、当たり前のことほど真剣に」

です。この言葉に出会ったのは、南山エクステンション・カレッジのエアライン就職対策講座でした。誰も気づかないような小さなことも、手を抜かず丁寧に取り組みれば感性が磨かれる。当たり前のことを普段から真剣に磨き取らなければ、やがては大きな信頼につながる。元ANAの客室乗務員である講師の方が教えてくださったその言葉に、私は虜になりました。元々人前に立つことが得意ではなく、その上恥ずかしがり屋の私にも客室乗務員になれるチャンスがあるかもしれない、そう思った瞬間でした。

それからは仏語や英語など語学力を高め、レストランでのアルバイトをしてはホームステイや海外旅行に向き、大学生活を楽しみながら夢を追いかけました。飛行機にはいるるな想いを抱えたお客様がいっぱいいます。それぞれのお客様に合ったサービスをすることの大切さ、またお客様の命をお預かりする保安員として、常に万が一を想定しながら

2012年度全日本空輸株式会社(ANA)新卒入社。客室乗務員。国内線担当。2014年春より国内国際マルチ班に移行。

ら乗務することの重大さを日々実感しております。努力に終わりはありません。これからはもっと、小さなことを一つずつ経験し、学び、生かし、お客様を安全で快適に目的地までお送りするために、一便一便心を込めて業務してまいります。どんなときも私らしく、楽しむ気持ちも忘れず。



同僚と休みを利用して宮古島を訪れました。ゆっくりおだやかな時間を堪能したり、観光スポットに向かうことで、お客様との会話の引き出しを増やすことも掛けています。(筆者:写真右側)

※1 センター利用入試[後期]は除きます。センター利用入試[後期]の結果につきましては、大学Webページ「受験生の皆様」http://www.nanzan-u.ac.jp/にてご確認ください。

※2 2014年4月、情報理工学部は理工学部、システム創成工学科は機械電子制御工学科に、情報システム数理工科はシステム数理工科に、名称変更します。また学部一括募集を廃止し、2014年度入試から学科毎への募集へ変更しました。

学部	学科・方式	一般入試		全学統一入試(前期学力試験)		全学統一入試(前期併用型)		センター利用入試(前期3教科型)		センター利用入試(前期5教科型)		センター利用入試(後期)		合計	
		志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格
人文	キリスト教学科	66	27	-	-	51	25	47	29	-	-	-	-	164	81
	人類文化学科	527	219	-	-	285	157	178	115	87	67	32	3	1,109	561
	心理人間学科	766	231	-	-	330	112	261	178	92	66	25	3	1,474	590
	日本文化学科	612	218	-	-	267	121	188	124	86	51	38	5	1,191	519
	人文学部計	1,971	695	-	-	933	415	674	446	265	184	95	11	3,938	1,751
外国語	英米学科	966	195	-	-	561	160	349	130	176	109	43	7	2,095	601
	スペイン・ラテンアメリカ学科	292	87	-	-	244	67	136	58	42	25	32	4	746	241
	フランス学科	263	79	-	-	198	67	102	52	30	19	25	6	618	223
	ドイツ学科	158	74	-	-	148	69	82	44	23	13	33	4	444	204
	アジア学科	181	76	-	-	146	75	64	37	25	15	26	3	442	206
外国語学部計	1,860	511	-	-	1,297	438	733	321	296	181	159	24	4,345	1,475	
経済	経済学科A方式	1,323	418	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	経済学科B方式	493	166	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	経済学部計	1,816	584	570	158	372	120	482	360	238	184	58	13	3,536	1,419
経営	経営学科A方式	1,524	352	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	経営学科B方式	232	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	経営学部計	1,756	416	774	211	428	147	329	228	125	93	105	21	3,517	1,116
法	法律学科	1,243	409	550	142	384	140	504	316	147	97	42	5	2,870	1,109
	総合政策学A方式	1,277	339	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総合政策	総合政策学B方式	479	143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	総合政策学部計	1,756	482	619	239	413	174	495	315	100	58	74	17	3,457	1,285
	情報理工学部A方式	712	298	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
情報理工	情報理工学部B方式	380	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	情報理工学部計	1,092	448	190	80	204	80	360	178	240	129	59	19	2,145	934
短期大学部	英語科	178	130	59	12	66	20	67	19	-	-	19	15	389	196
	合計	11,672	3,675	2,762	842	4,097	1,534	3,644	2,183	1,411	926	611	125	24,197	9,285